

『大阪市家族介護支援事業（都島区北部包括支援センター主催）』参加 活動報告

（一社）大阪府作業療法士会地域局大阪市北ブロック

大阪市北ブロック担当理事：林 辰 博（大阪医療福祉専門学校）

運営委員：内田 嘉央理（聖和病院）

- 日時：平成 29 年 5 月 24 日 11：00～16：00
- 場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
- 参加者： 理事：2 名 大阪市北ブロック運営委員：1 名 計 3 名

● 活動報告

都島区北部包括支援センター主催による『大阪市家族介護支援事業：認知症にはならへん！なるかな？なったらどうしよう！？』に参加しました。

対象は前回推進部との合同で行った介護フェアと同様、都島区民が対象です。内容は大阪市立総合医療センターの医師などの講義が中心に行われました。講義会場外では、介護支援専門員・訪問看護・福祉用具など各専門職種による相談ブースを設けられ、相談会が行われていました。

今回作業療法では、理学療法（大阪府理学療法士会大阪市北ブロック）と合同で『認知症予防の取り組み』の題で、20 分のワークショップを行いました。

府士会理事の松下先生に講師としてご協力いただき、『認知症の生活支援』に関してお話しいただきました。ワークショップは合計 3 回行われ、第 1 回：6 名、第 2 回：14 名、第 3 回：25 名 と最終回は定員を超えてのご参加をいただき、好評を得ました。

また、メイン講演では 400 名を超える参加者で、区民の皆さまの健康への意識の高さがうかがえました。

これからの作業療法士は地域との連携が求められ、『作業療法士の出来ること』『作業療法士の得意なこと』を広く知ってもらう必要があります。

今後も大阪市北ブロック（通称：NOB-OT）では「つながり」をテーマに、OT・PT・ST 間、他職種連携と地域をつなぐような活動を行っていきます。

病院で働く方も、これからは地域とのつながりが重要です。「つながり」にご興味がある方は是非とも、NOB-OT とともに、地域活動にご協力ください。ご興味がある方は下記までご連絡ください。nob-ot@outlook.jp（大阪市北ブロック理事：林、ブロック長：山元）

報告者：内田 嘉央理（聖和病院）